



# 碧南ロータリークラブ週報

第2386回例会 平成19年11月21日(水)

● 会長 鈴木 敏弘 ● 幹事 石橋 嘉彦 ● 会場監督 (SAA) 新美 宗和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

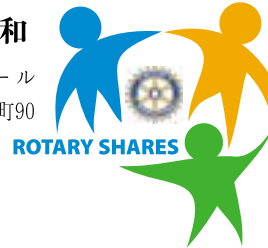
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)

■ 会報委員 新美 惣英・長田 和徳・平岩 辰之・杉田 茂



2007~2008年度  
国際ロータリーのテーマ

ロータリーは  
分かち合いの心

## ● 斉 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## ● 本日のお客様

CBC野球解説者 彦野利勝様



杉浦勝典副会長

## 副 会 長 挨拶

本日は会長が欠席されましたので代わりに挨拶を致します。去る11月15日、3クラブのゴルフコンペが秋晴れの中、葵カントリークラブにてライオンズクラブさんの主幹で開催され、個人では、角谷信二君がグロス75ネット66で優勝されました。来月シングルコンペを開かれる前で、今一番充実されておられるのだらうと思います。団体戦もロータリークラブが圧勝で優勝致しました。おめでとうございます。また、11月17、18日に第2760地区の地区大会が江南RCのホストで開催され、大変寒い日になりご苦労様でしたが、大勢の参加を頂きました。パークアリーナ小牧という広い会場に登録メンバーが約3,000人と2760地区の約6割の方が登録されたと聞いております。終りましてから大正館さんでの懇親会、反省会での話の中で、以前碧南RCが地区大会を開催した時の会場設営、昼食等を懐かしく思い出しパークアリーナ小牧での開催と比較反省し話が盛り上がりました。記念講演講師の手島龍一氏は元NHKワシントン支局長で、9.11事件の時にアメリカから日本へ情報をNHKを通して発信された方で「世界のリーダー達の武器なき戦い」という講演を聞き、レーガン元大統領、キッシンジャー元補佐官、台湾の李登輝前総統の裏話、北朝鮮の今後の核の問題にも触れられ有意義な話で参考になりました。地区大会も毎年開催されるわけですが、行ってみて色々な面で自分なりにロータリーを学び、勉強していき成果が出ると思います。参加された方にはご苦労様と申し上げ挨拶とさせていただきます。

## 幹 事 報 告

- ・他クラブの例会変更等は幹事報告書の通りです。
- ・RI事務局より12月よりロータリーレートの変更 1ドル116円→112円に



## 委 員 会 報 告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 80名 (内出席免除者 12名) 出席者 54名	
出席対象者 49/68名	出席率 72.06%
欠席者26名(病欠者0名)	前々回修正出席率 98.53%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

### 〈ニコボックス委員会〉

- 鈴木 敏弘君 } 11月18日の地区大会に多くの登録参加頂き有り難うございました。  
石橋 嘉彦君 }
- 杉浦 勝典君 11月1日商工会議所の臨時議員総会にて副会頭に再選されました。  
彦野さん、よろしくお願ひします。
- 黒田 昌司君 長女が公認会計士補から会計士になりました。
- 石川 春久君 本日の卓話の講師彦野利勝さんを紹介させていただきます。
- 小笠原良治君 またまた、身内におめでたい事がありました。今回はさみしくならず、ホット  
しています。初孫です。
- 新美 真司君 奥田先生にお世話になりました。
- 角谷 信二君 11月15日(木)3クラブゴルフ大会にて優勝しました。
- 森田 雅也君 新美孝様、先日は大変お世話になりました。有り難うございました。
- 堀田 益隆君 11月18日(日)けんしん杯碧南サッカー少年団大会を開催し、熱気あふれる中、  
大浜サッカー少年団が優勝しました。又、同日のクリンピーでは、役職員130  
名が清掃活動に参加しました。
- 榊原 健君 11/18(日)けんしん杯少年サッカー大会が堀田さんはじめけんしんの皆様  
のご協力で、無事第1回大会が終了しました。けんしんの皆様に感謝。
- 栗津 康之君 11/15の3クラブゴルフ大会で、準優勝となりました。ロータリーの部会では、  
心優しい角谷信二先輩の暖かいお心遣いで繰り上げ優勝となりました。  
有り難うございました。

### 〈国際奉仕委員会〉

第3360地区ラオスへの贈り物寄贈のお願い

## 卓 話

「ドラゴンズ日本一の足跡」CBC野球解説者 彦野利勝氏

私は、愛知県名古屋市出身、地元の愛知高校から25年位前にドラゴンズに入りまして現役生活は16年でした。今年日本一になった経緯と致しましてキャンプからどの評論家の人も今年のドラゴンズはぶっちぎりでシーズン優勝するだろうと予想を立てていたと思います。私も春先2月にキャンプ廻りをするのですが相手になるのは巨人ぐらいかと思っておりました。ただ蓋を開けてみますとそれほど各選手の力が出せずに混戦



になり、もたもたしているうちに阪神が追いついて来て3強と言うかたちで最後の最後までもつれ、最終的には負けたわけです。2位でシーズンは負けたのです。だが日本一という事で、これが複雑なところで、今年からルールが変わってシーズンの優勝チームと日本一のチームが違うという複雑な形態になり、昨年まではパリーグが行っていたプレーオフという制度で1位から3位に入ったところで3チームの優勝争いをやって勝ったところがシーズンの優勝、リーグ制覇、その上に日本シリーズという分かり易い図式だったのですが、ダイエー、ソフトバンクが優勝しているにも拘らず日本シリーズに行けないという事などいろいろなことがあり、シーズンの優勝は優勝として優勝チームを作ろうという事になったのが今年からです。今年ドラゴンズは2位で負けたのですが日本一になれた理由の一つですね。ただ、力としてはドラゴンズとジャイアンツは抜けていると思いますから最終的にこの2強の争いになるのは当たり前の事であって、この2つが抜け出せなかった事によって、またクライマックスシリーズは3位までに入れば良いということも阪神が最後の最後まで頑張ったことによって優勝争いに加わったのかというのが今年のシーズンであったと思います。この制度が来年再来年続くのですが、正直私は反対です。皆さん

もすっかりされていないように確かに日本一になったが、落合監督が言われるように完全優勝ではないという事で、極端にいうと3チーム優勝チームが出てきてしまうという可能性もあるわけでした。どのチームが一番強かったのかという判断がつかない状況になっていると言えます。今この話をしていると53年ぶりの優勝は関係ないよと言っているように聞こえますが。形態の話をしても仕方がないので2位で負けて、そこからうまく切り替えたのがドラゴンズ、昨シーズンのパリーグを見ましてもシーズン2位通過が強い。日本シリーズに出てそのまま日本一になるのが続いています。なぜかという、やはり最初にホームで試合が出来て、勢いをつけて、待っている1位チームと試合が出来るといいう形が出る。まさに今年のドラゴンズがこの形にはまったという事です。普段シーズンでは見られないような初回から何点も取る連打の攻撃があったりとかで5連勝というパーフェクトな形で日本シリーズに進んだという状況だったと思います。なぜ、日本一に成れたのか、最終戦なぜ山井から岩瀬に代えたのかという話だと思いますが、日本一になれたのは、私は初戦で決まったと思っております。先発ダルビッシュ、川上の両エース、札幌ドームで開幕しました。川上のたった一球の失投で初回に3点取られた。それから8回まではほぼパーフェクトなピッチングをしましたがダルビッシュにはつけ入る隙がない。淡々と試合は進んでいくのですが、本来、日本ハムはマイケルという守護神を持っているにもかかわらず使えなかった。使わなかったのではない。1点取られて少し危なくなってきたところ本来なら代えてもいいところを代えられない。なぜかと言えば、ダルビッシュしか任せられない。武田久、マイケルとドラゴンズでいうと岡本、岩瀬のようなピッチャーを持っているにもかかわらず、ヒルマン監督は代えられなかった。それだけドラゴンズ打線の勢い等も含めて流を変えるのを非常に怖がっていました。ダルビッシュを完投させなければ勝てないとふんだ訳です。最終的には完投させ140球位投げさせた。この時点で勝負ありです。わたしは、ダルビッシュで3勝しないと日本ハムの優勝はないと思っていました。先発ピッチャーが非常に弱い。グリーンに武田勝、あとは諸々。対するドラゴンズには沢山います。ですからダルビッシュが1.4.7戦目に全部勝たないと日本一の目はうすくなるだろうと思いました。ドラゴンズは初戦に負けましたがダルビッシュが完投してしまったが為に4戦目に出てこれなかった。そして5戦目にまわってしまった。万が一5戦目に勝ったとしても7戦目に投げられない。そうした場合、札幌ドームに行っただとしてもドラゴンズが勝っているという計算を、今となっては後付になる話ですが初戦を見て思いました。荒木の2戦目の盗塁が良かったとか、つながりが良かったとか、中村紀がいい場面で打ったとかが言われますが、初戦のダルビッシュに頼らざるを得なかった日本ハムの貧打線と投手力の差が昨年の新庄、小笠原がいるチーム力と比べた時にドラゴンズの方が一枚も二枚も上手だったというのが私の分析です。最終戦、山井の交代の件ですが、あの場面ではおそらく誰も代えるとは思っていませんでした。代えるのが正解、反対ということに関しておもしろいデータがあるのですが、私もほぼ100%代えない方が良いという意見だと思っていたのですが、日本一になった次の日、ドラゴンズファンのラジオ番組で投書のファックスが山のように来ましたが、そこで賛成、反対と分けたところ賛成が85%だったのです。代えるべきではないという気持ちの人が多量だと思っていたのですが、実際は「日本一になってうれしい」「最後は岩瀬だ」というようなコメントが載ったファックスが大半でした。「何で代えるんだ」というものは非常に少なかった。ただこれは名古屋だけです。2日後に石川県に野球教室に行き、同じような質問をしたりされたりしたのですが全員が「代えて欲しくなかった」という応えでした。ですから名古屋の人たちはどれだけ日本一を待ち望んでいたのかという事が言えるのではないのでしょうか。他の地域の人たちは単純に野球ファンですから、あの場面での完全試合を望んでいた。違う意味合いで日本シリーズが最後に盛り上がりましたね。なぜ、ベストナインも井端、ウッズだけとかMVPもジャイアンツの小笠原が受賞なんだ、日本一のドラゴンズから選ばれないんだと思われ

ているドラゴンズファンがお見えになると思いますが、なぜかと言えばシーズン優勝はジャイアンツだからです。名古屋の人は日本一になったという意識ですからドラゴンズから何で選ばれないんだという思いが強いと思いますし、私もいつも思います。岩瀬にあげて欲しいと思っております。ずっと40セーブしていて前人未到の記録を打ちたてていっても意外と彼は賞にあたらぬ。今年はセーブ王でもないですし、そういう意味ではあまり目立たない。彼も年齢がきてるし、そうそう40セーブも望めない。福留君のようにFAで手を上げてよそに行くような事もしないでしょうから、ドラゴンズで最後まで野球人生を終えようと考えて投げ続けてくれる選手は今まで一人もいなかったと思います。ところで、私は1988年に優勝を経験しましたが、昭和天皇のご容態のかげんでビールかけもパレードも自粛となりました。その時は24歳でしたので来年再来年にやればいいともっておりましたが経験せず引退してしまいました。その明くる年の99年に優勝した時、私が当時の星野監督に「久しぶりの優勝おめでとうございます。」と声をかけ、私への星野さんの第一声が「お前のお蔭や、お前が辞めてくれたからや」と言われたのが非常に記憶に残っております。その後も何回も優勝しているのでなんと優勝に恵まれない時期に選手だったのかと思います。給料の面でも恵まれず、今の選手とは桁が違いうらやましく思います。今年のダルビッシュは幾ら上がるのでしょうか。今がおそらく7千万位ですから2億はいくでしょうという計算が簡単にたってしまうのが今の野球界です。ただこれで頭打ちです。これからはアメリカへ流出させて見返りにお金を頂いて球団運営をしていく時代になっております。有名選手がもちろん自分の意思で大リーグへ行くのですが球団が引き止めなくなった。福留もおそらく巨人かメジャーへ行くでしょう。どうしても球団に残って欲しい選手というのは監督が引き止めます。いくらオーナーとか代表とかがいっぱいお金を並べて条件を出して残ってくれと言うよりも現場の監督に「頼むよ、残ってナ」といわれることの方が一番ききます。だが監督が何も言っていないところを見ると、想像ですが、出て行ってもいいと落合監督は思っているのではないのでしょうか。監督は話をするタイプの方ではないので、正直私たちも半分判って半分判らないのが現状です。グラウンドに毎回取材に行き取材を基に自分の考えを入れてラジオ、テレビ等でお話しているのですが落合監督になってから取材ができなくなってしまいました。今監督が何を思っているのか、今日はどのように試合をするのかコミュニケーションが取れません。ものすごく報道陣を警戒される方です。根暗とか言う事ではなくシビアに考えられてまったくお話にならず、報道側としてはやり辛いです。監督の声はグラウンドで聞いておりませんので、来年の私の落合監督への目標は声を聞く事です。キャンプに行った初日にご挨拶に行くのですが、其の時に声を聞く事が来年の1つの目標にしようかと思うくらいしゃべりません。ただ、成績だけ見ますとこんな監督は今までドラゴンズの歴史上一人もいなかった監督ですからすごいと思わざるを得ません。野球の型はものすごく堅く、荒木井端のセリーグを代表する二遊間ということで売り出して数年経ちますがサインを出さない。これなら私でも出来そうに思いますが、選手の能力が非常に高いので「お前らにまかせた」と言うだけで上手く流れる。ほとんどサインを出していませんね。それだけキャンプで鍛えている。そのあたりが落合監督のすごいところであると思います。いらん事はしゃべらないがやる時はやる。練習はものすごくやっています。ただ、53年ぶりの日本一の後、OBとして期待する事は若い選手をもう少し何とかして欲しい。一軍は凄いです。井端、荒木、森野はもうやらなくてもいいのではないかと思う位にノックを受けたり打ち込んだり。次世代の20歳から25歳位の選手がもう少しがんばらないと5年後大変なチームになってしまう危険を伴っています。横浜のように一時期若い人に切り替えた時に全くダメになってしまったという二の舞にならないようにと念じます。キャンプに行っても二軍より一軍の方が練習しているように思います。一軍の選手が1時間バッティング練習するなら二軍は3時間位しなければダメなんです。それでも届くか届かないかです。二軍の選手は給料が良くて、現状に満足している子が沢山います。なかなか

か1軍に上がれないという事も、私たちの頃のようにではありません。少しよければ1打席でも2打席でもチャンスをもたらえるというシステムですので、わりと1軍のことを軽く考えています、2軍に下がってもまた上がればいいと。私たちの頃は1軍に上がったら絶対に落ちたくないと必死になっておりましたが。西武からわざわざ和田を取ってくるのではなくて平田も堂上も居ますので、彼らを育てて、レギュラーとして出した方がドラゴンズファンは喜ぶでしょうし、そういうチーム作りをして欲しいと思っております。さて、私個人の意見ですが、山井の件は負けてもいいからあの試合は山井にあげて欲しかった。負けても北海道で優勝する算段でしたから一野球ファン、ドラゴンズのOB、ドラゴンズに優勝して欲しい、色々な面を含めての私の気持ちです。あと一人で53年ぶりの優勝という時に「ピッチャー交代」と言ってブーイングがおきたのはドラゴンズだけでしょう、それ位のことを起こしてしまった歴史的な事件というか、日本シリーズ史上に残る、これから言い伝えられるゲームに逆に演出したのかとも思えますが、如何なことかと思えます。

最後に11月24日午後5時からドラゴンズファン感謝デーの後にナゴヤドームでマスターズリーグが行われます。札幌ドームで第1戦を行い勝ちました。8試合戦いますが昨年初優勝し連覇をねらってまた頑張りたいと思います。私は3番を打っておりますのでよろしかったら観に来て下さい。ご清聴ありがとうございました。

**次回例会案内 平成19年12月5日(水)**  
**年次総会 次年度役員理事選挙**